



●たかのいかいん

津川湾から約300mの平地に、昭和61年(1986)に建設された総合結婚式場高野会館は、震災以前は地域の一時避難場所になっていました。震災当日、同施設では町の高齢者の寄合いが行われていましたが、スタッフの的確な判断と迅速な誘導により、高齢者や近隣住民327人と、2匹の犬の命が助かりました。スタッフは定期的に避難訓練を実施し、各階に緊急時用の備蓄物資を備えていたなど、さまざまな対策や日頃からの防災意識、取組みが実を結んだのです。

現在は民間の震災遺構として保存。管理する南三陸ホテル観洋が語り部バスを毎日運行しています(有料要予約)。外から眺めるだけではなく、実際に建物の内部に入り、目の前で破損状況や津波浸水高などを確認できるのはとても貴重な経験。語り部スタッフに震災当時の様子を聞きながら、あの日に思いを巡らせてみましょう。

巨大な津波が4回も押し寄せ、4階付近まで浸水したが、スタッフの優れた判断で、屋上に避難した327人と犬2匹の命が救われた。3階と4階の間の外壁にある津波の高さを示す表示にも注目しよう



高野会館や町内の戸倉地区を回る語り部バス。震災遺構 旧防災対策庁舎も車窓から見学できる。平成29年(2017)には、「ジャパン・ツーリズムアワード大賞」を受賞。国内外から約35万人が同施設を訪れている



語り部スタッフたちが「物言わぬ語り部」とよぶ高野会館。語り部バスは毎日運行しており、1人でも参加できる。宿泊者のみならず、日帰りでも語り部バスだけの予約もできるが、出発時間が異なるので注意

●みなみざんりくちょう  
南三陸町

高野会館

日頃の防災意識の大切さを物言わず語る



最大震度 6弱

浸水面積 10km<sup>2</sup>

最大浸水深 32.75m



全壊 3,143棟

半壊 178棟

一部損壊 1,204棟



死者 620人

行方不明者 211人

負傷者 不明

※被害状況のデータについては、注釈がないものはP.11下段に記載の資料に準拠  
※空欄または「不明」としているものは準拠資料の通りに掲載

震災遺構

語り部あり

※要予約

施設DATA

●たかのいかいん

高野会館

☎ 0226-46-2442(南三陸ホテル観洋) MAP P114D2

📍南三陸町志津川汐見町32-1

🚗三陸沿岸道路志津川ICから車で6分

🕒通常コース(ホテル出発8時45分(所要約60分))

高野会館コース(宿泊者限定):ホテル出発10時15分(所要約90分)

📅無休

👤通常コース:中学生以上500円、小学生以下250円  
高野会館コース(宿泊者限定):中学生以上1000円、小学生以下500円

🅐あり(大型バス:あり)

※南三陸ホテル観洋の駐車場を利用  
<http://www.mkanyo.jp/語り部バス>



考えてみよう

Q1 高野会館を管理する南三陸ホテル観洋が、同施設を民間の震災遺構として保存し、公開に踏み切った背景には、「震災を風化させないため」ということ以外にも理由がありました。それはまさに、高野会館の存在意義でもあります。それは何でしょうか?

A1 「想定に捉われない判断と最善を尽くした震災当時の行動を、未来へ語り継いでいくこと」。まずは知ってもらうことが重要だと考えている。